

ほうれんそう

<https://www.amagasaki-library.jp/>



尼崎市立北図書館
尼崎市南武庫之荘3-21-21
TEL (06) 6438-7322
FAX (06) 6438-7344

《新・尼崎の本棚 87》

五月の節供 (牛廻し)

近代に至るまで、牛は農村にとって欠かすことのできない動物で大切に育てられてきました。尼崎の各地域では五月の節供に牛を集落内の特定の場所に連れていき歩かせる「牛廻し」という風習がありました。この祭事は摂津地区を中心に、尼崎でも広い範囲の地域で行われていました。

牛廻しのやり方は各村によって様々ですが、上食満での方法は牛の角にショウブ、センダン、ヨモギなど好物をつけてやり、牛廻しと呼ぶ草の生えた小高い丘に連れて行きました。そこでちまきやショウブ餅を作って食べさせました。このように牛廻しは牛に飾りや化粧廻しなどをほどこし、塚や山に連れて行き、三回廻らせるといった方法が多かったようです。こうすることで牛が丈夫で健康にあるよう祈願し、牛への感謝と敬意を表していました。特に5月は田植えを控えているため厄払いの神事の一環として行われていました。

浜田では、国道に電車の車庫ができるまで牛廻しが行われていましたが、以後なくなりました。尼崎はその後都市化が進み、牛を飼育している農家もおらず、現在「牛廻し」を見ることはできません。しかし地名などにその名残が残っています。

(参考:「みちしるべ 第43号」尼崎郷土研究会/編集発行 ・「尼崎百物語」大江篤/編 神戸市新聞総合出版センター)

◆ 端午の節句

古代中国では旧暦五月は物忌み月とされ、邪気を払うため薬湯に浸かり、ショウブを浮かべた酒を飲みました。一方、日本でも五月は田植えの季節の前に厄を祓うため、早乙女たちがショウブやヨモギで屋根をふいた小屋で身を清める女性の祭りがありました。やがて中国から伝わった風習と結びつきショウブを用いた日本独自の習わしになったと考えられています。ショウブには邪気を寄せ付けない魔除けの効果があると考えられており、お風呂に浮かべたり軒先に飾ったりして厄災を祓うよう祈願していました。

江戸時代頃になると、勝負とショウブが勇ましさに通じる縁起物として男の子の祭りとして変化しました。五月五日の風物詩である鯉のぼりは、滝を登る鯉のように子どもがたくましく育つよう飾られており、柏餅は新しい芽が出るまで古い葉が落ちないという柏の葉からげんを担ぎ、子孫繁栄の意味を込めて食べられています。

(参考:『季節の行事と日本のしきたり』毎日コミュニケーションズ/編集発行)

● 「菖蒲」についてならこんな本●

- 『花菖蒲』 永田敏弘/著 学習研究社 211786041
- 『最新花菖蒲ハンドブック』 平尾秀一/著 誠文堂新光社 210412244
- 『四季の花色大図鑑』 講談社/編集発行 230294262

<図書館の休館日> ■■■ 印の日はお休みです

5月

日	月	火	水	木	金	土
						1
②	③	④	⑤	⑥	7	8
⑨	10	11	12	13	14	15
⑬	17	18	19	20	21	22
⑳	24	25	26	27	28	29
⑳	31					

6月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
⑥	7	8	9	10	11	12
⑬	14	15	16	17	18	19
⑳	21	22	23	24	25	26
⑳	28	29	30			



5月: 皐月(さつき)

食べ物: キャベツ、シイタケ、タケノコ、サワラ、ワカメ、ナツミカン

植物: バラ、ラベンダー、ライラック、ハナミズキ、ツツジ、フジ

季語: 筍流し、若葉、新緑、葉桜、木苺、新茶、柏餅、初鯉

開館時間 午前9時～午後8時 (日曜・休日(○)は、午後5時15分まで)



おすすめ本ポップ

【期間】5月1日（土）～5月26日（水）

【場所】1階 児童室前

図書館員がおすすめする児童書をポップでご紹介します！

※ 展示本は貸出できます。

ポップアップカードを作ろう！

【日時】5月2日（日）～5月5日（水・祝）

13時～15時30分

【場所】3階集会室

【申込】不要



しかけ絵本の展示や、飛び出すカード作りを体験できます。
当日、直接会場にお越しください。



2021年本屋大賞受賞



	タイトル	著者	出版社
大賞	『52ヘルツのクジラたち』	町田 そのこ	中央公論新社
2位	『お探し物は図書室まで』	青山 美智子	ポプラ社
3位	『犬がいた季節』	伊吹 有喜	双葉社
4位	『逆ソクラテス』	伊坂 幸太郎	集英社
5位	『自転しながら公転する』	山本 文緒	新潮社

【6位以下はこちら】

6位『八月の銀の月』

伊与原 新／著

7位『滅びの前のジャングリラ』

凧良 ゆう／著

8位『オルタネート』

加藤 シゲアキ／著

9位『推し、燃ゆ』

宇佐見 りん／著

10位『この本を盗む者は』

深緑 野分／著



2021年翻訳小説部門



	タイトル	著者	出版社
1位	『ザリガニの鳴くところ』	ディーリア・オーエンズ	早川書房
2位	『神さまの貨物』	ジャン＝クロード・グランベール	ポプラ社
3位	『あの本は読まれているか』	ラーラ・プレスコット	東京創元社



<5月展示のご案内>

一般大展示 「ファンタジーの世界へようこそ！」
2階展示 「尼崎今昔物語」

大人のための朗読会

【日時】 5月19日(水) 午後2時から1時間ほど

【場所】 3階 集会室

【内容】 『つづきの図書館』 柏葉 幸子/作

山本 容子/絵

朗読はボランティア「ま・どんな」のみなさんです。

※ 状況により、内容の変更・中止になる可能性があります。

人を読む 恩田陸

1964年～宮城県生まれ。『夜のピクニック』で吉川英治文学新人賞と本屋大賞、『中庭の出来事』で山本周五郎賞、『蜜蜂と遠雷』で直木三十五賞と本屋大賞を受賞。他の著書に『夜の底は柔らかな幻』『祝祭と予感』など多数。

『「恐怖の報酬」日記』

恩田 陸[著]/講談社

海外にはとても行きたいが、飛行機には乗りたくない。そんな著者にイギリス・アイルランドの取材旅行の話が。飛行機に乗る前の恐怖の日々のこと、ついに上陸を果たしたイギリス・アイルランド紀行を綴る、初のエッセイ集。『N・POCKET』2004年1～10月号連載分を単行本化。

『図書室の海』

恩田 陸[著]/新潮社

“図書室は船。じゃあ、海はどこにあるんだろう？”卒業した先輩から「図書室の海をよろしく」という手紙をうけとった関根夏はヒントを求めて図書室に向かう...。書きおろしの表題作ほか、卒業間近の少女たちの物語「春よ、こい」「ピクニックの準備」「茶色の小壇」など全10編を収録。

『ユージニア』

恩田 陸[著]/角川書店

自殺した男の遺書に「犯人は自分だ」と書かれていたことによって解決したはずの、ある名家の大量殺人事件。人々の記憶に埋もれたその事件の証言者たちは果たして「真実」を語っているのか...。日本推理作家協会賞受賞のミステリー。『本の旅人』『KADOKAWAミステリ』連載を加筆修正した単行本を文庫化。

『おともだちできた?』

恩田 陸[著]・石井聖岳[画]/講談社

女の子が引っ越してきた、新しい町。ママは「おともだち」を探していらっしやい、と女の子を送り出します。でも、道にも公園にも誰もいません。一人で遊んでいた女の子はやがて、「たくさんのおともだち」と毎日楽しく遊びますが...。恩田陸と石井聖岳が描く怖い絵本。【0～5歳】

本名は熊谷奈苗(くまがいななえ)。早稲田大学卒業後、会社に勤めながら作家活動を開始。退職後、1992年『六番目の小夜子』でデビュー。1997年に専業作家となるまでは会社に勤務しながら執筆を続ける。豊富な読書量を基盤として、ミステリー・青春小説・ホラー・音楽小説・冒険小説など幅広いジャンルで作品を生み出している。

児童室 5月



おはなし会



土曜日

おひざのうえのおはなし 午後2:00~
 小さい人(ようちえん) 午後2:15~

場所: 3階集会室

5/1(土)

●おひざのうえ
 「にっこりにここに」
 「ぴんぽーん」

●小さい人
 「そらいろのたね」
 「ねことねずみ」

5/15(土)

●おひざのうえ
 「ぼうしかぶって」
 「にゃんきつちゃん」

●小さい人
 「ルラルさんのじてんしゃ」
 「ひなどりとねこ」

状況に応じて
 中止になる
 可能性があります。



水曜日

あかちゃんひろば

(第1・第3水曜日)

場所: 1階絵本コーナー

5/5(水)、5/19(水)
 午前11:00~11:20

0歳~2歳くらいのお子さんと
 保護者向け

赤ちゃん絵本、わらべうた、手遊び



日曜日

(第2・第4日曜日)

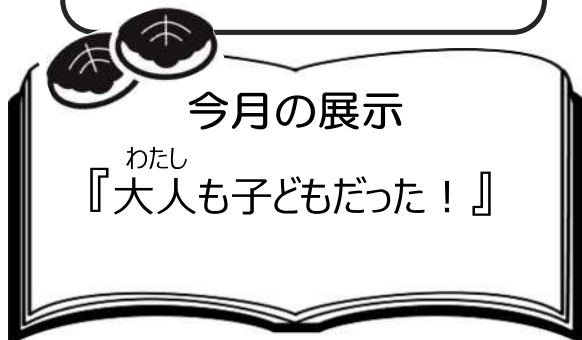
場所: 1階ロビー

5/9(日)、5/23(日)
 午前11:00~11:20

2歳くらいから

季節の絵本や紙芝居など

5



日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5 	6	7	8
9 	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19 	20	21	22
23 	24	25	26	27	28	29
30	31					